

三陸沿岸道路 宮古田老道路 千徳小学校5年生による現場見学会

概要

三陸沿岸道路「宮古田老道路」は、宮古市松山（宮古中央IC）から宮古市田老字小堀内を結ぶ延長21kmの自動車専用道路です。この区間は、平成23年度に事業化となりました。現道の線形不良区間を回避し、走行性が向上するとともに、各都市の連絡時間短縮による地域間交流の活性化や、流通効率化による地場産業の復興支援、救急医療施設へのより迅速な搬送による安心な暮らしのほか、災害時の緊急輸送路としての機能が期待されています。

この度、宮古市立千徳小学校5年生73名を対象に「復興事業に携わる方々の思いや願いを知り、宮古市の復興についての理解や関心を深める場」として、宮古田老道路の（仮称）崎山第2トンネル（延長845m）の現場見学会を開催しました。

三陸沿岸道路 宮古田老道路 千徳小学校5年生による現場見学会 開催状況

開催日時：平成28年9月28日（水）10:00～11:30

開催場所：宮古市崎山第5地割地内



▲発破体験



▲工事概要説明の様子



▲トンネル坑内見学の様子



▲トンネル坑内見学の様子



▲高所作業車試乗体験



▲質疑応答の様子